



冠状面(前頭面)

フォーカス次元

フォーカス次元は脳幹と新皮質の統合に関係しています。子どもの身体の前と後を協調して、注意力と理解力を促進させます。また、脊椎を起点とする動きのパターンのための神経系や姿勢の正しさ、空間での位置把握、言語を表現する技能(話す、書く、サインするなど)を教育します。この学びの次元では、与えられた課題に取り組むか否かを選ぶ能力も発達させます。教育キネシオロジーにおけるデニソンのモデルでは、この正中線を参加正中線と名づけています。

後と前

空間認識と知覚認識

先行するのは:脊椎の動き

子どもの理解力と 参加する能力に関連する

この次元の動きは、理解、発話と 言語生産を高める